久地円筒分水　　（川崎市）

久地円筒分水は、水を一定の割合で分配するための円筒分水と呼ばれる農業用水施設で、昭和 16 年に建設された。多摩川から取水された二ヶ領用水は、内径 1.5m の 2 本のコンクリート管による伏越しによって平瀬川と交差したのち、1 辺 4m の隅切りの正方形断面の筒を上って、円筒分水の中心、水深約 2m のところから湧き上がる。内径 8m の円筒が整水壁となって水面の乱れを押さえ、内径 16m の円筒の外側を隔壁で 4 つに仕切ることで分水される。分水される水の量は円周の長さの比率で決まる。

